

2010年度 入試問題分析シート

京都大学

前期日程

科目

国語(古文・理系)

試験時間	90分	満点(配点)	総人(理)・教育(理)・経済(理)・医(医) 150点 理・医(人間健康)・薬・ 工(物理B,電気電子Bを除く)・農 100点	出題数	現代文 2題 古文 1題
------	-----	--------	---	-----	--------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

<総論>

京大の入試問題らしく、一見易しそうであるが、きちんとした読解を要求される文章である。

<特記事項・トピックス>

<合格への学習対策>

基本的な語彙・語法をしっかりと身につけた上で、本文全体の中で傍線部の内容を理解していくという学習姿勢が肝要である。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
三	仮名草子	『女郎花物語』 北村季吟	仮名草子からの出題は京大としては珍しい。	やや易

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
三	問一	記述	現代語訳問題。筑紫に下った夫と京に残った妻との関係を、言葉を補いながらつかんでいく。 (1)の「べき」は意志の用法と考えてよいだろう。 (4)の「いかでか」は反語である。	標準
	問二	記述	和歌の現代語訳問題。本文の内容との関わりを考慮して、和歌の現代語訳を考える。	標準

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。